

ニュージーランド産リンゴは特に大玉の需要が高い

[FreshPlaza 2024年5月13日](#)

ニュージーランドのリンゴの収穫は、開始は遅かったものの、3月からは上向き、その後本格化した。サイズ分布が小玉に寄っているため、ほとんどの品種で推定出荷量がわずかに減少しているようである。

ファーンリッジ青果会社のカート・リビングストン氏は、「ホークスベイ地方とネルソン地方の両方で収穫期全体を通して例外的に良い天候が続いている。記録的に雨の多いシーズンが2年続いた後、収穫期が暑くて乾燥しているのは素晴らしいことであった。ただし、果樹はこの時期に水を必要としているので、今、多少の雨が降るのも良いことだ」と述べている。(以下「」は同氏の発言)

「弊社が提携している生産者達は今シーズンの収穫を終了した。これは重要な節目である。最後に収穫された品種はピンクレディーで、現在、輸出用に梱包されている。今年のピンクレディーの色と糖度は見事である。生育期が暑くて乾燥していたため、ほとんどの品種で果実のサイズが小さくなっているが、糖度と全体的な食味は素晴らしい。」

同氏によると、今年のアジア市場は興味深いものであった。「ベトナムは、昨年のリンゴの供給過剰による持ち越し在庫のため、ゆっくりとスタートを切ったようであった。その後、ハノイでは高級品種、特に大玉のリンゴで持ち直した。一方、台湾では米国産リンゴの供給が過剰なため、ニュージーランド産の販売は厳しいスタートとなった。ふじ品種には価格押し下げ圧力があり、荷動きは通常よりも鈍い。」

「中国市場では、これまでニュージーランド産リンゴの価格が乱高下している。早い時期のロイヤルガラには価格押し下げ圧力があつたが、現在は市場が持ち直し、荷動きは堅調である。ニュージーランド産ガラの中国向け総出荷量はまだ少ないため、引き合いは維持され、出荷シーズンの残りの期間にはむしろ増える予想している。価値の高い品種では、特に中玉で、荷動きと在庫の回転が鈍いようである。

ニュージーランド産のほとんどの品種でサイズ分布が小玉に寄っているということは、より大きい玉は不足しているということであり、これらは荷動きが早く、良い値が付いている。今年の中国で最も重要なことは、市場が引き続き自信を持って我々のブランドと品種を買い付けるように、品質の良いものを提供することである。」

「米国産の在庫の持ち越しは、特に台湾で我々のリンゴの需要に影響を与えている。また、南アフリカ産のリンゴはほとんどの市場で人気のある選択肢であり、アジアで市場シェアを伸ばしているようだ。

弊社は今年、コル(KORU®)リンゴのブランド戦略を見直し、最近最初のコンテナがベトナムに到着するとすぐに売り切れた。「特に大きなサイズは需要が高く、人気がある。今年はKORU®の色と食味が素晴らしいので、新しいブランド戦略を立ち上げるのには良い年である。」

執筆者: ニコラ・マクレガー

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)